

令和 7 年第 1 回 燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
3 月 5 日 (水)	午 後	1	高 橋 妙 子 議 員			○
		2	齋 藤 和 也 議 員			○
		3	藤 井 秀 人 議 員			○
		4	近 藤 隆 行 議 員			○
6 日 (木)	午 前	5	大 島 靖 浩 議 員			○
		6	佐 野 大 輔 議 員			○
	午 後	7	小 林 由 明 議 員			○
		8	長 井 由 喜 雄 議 員			○
		9	稲 村 隆 行 議 員			○
1 0 日 (月)	午 前	10	土 田 昇 議 員			○
		11	タナカ・キン 議 員			○
	午 後	12	齋 藤 信 行 議 員	○		
		13	岡 山 秀 義 議 員			○
		14	宮 路 敏 裕 議 員			○

令和 7 年第 1 回 燕市議会定例会「一般質問表」

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
1	高橋 妙子 (一問一 答方式)	1. 教育につ いて	(1) 燕市の目 指すべき 教育の在 り方につ いて	① 令和 3 年に中央教育審議会より答申「『令和の日本型 学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性 を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの 実現～」が出されました。令和時代における学校教育 の在り方と、その実現のための取り組みを示す令和の 日本型学校教育ですが、その実現すべき姿として、「個 別最適な学び」と「協働的な学び」を掲げています。 燕市の学校教育において、「個別最適な学び」と「協働 的な学び」はそれぞれどのように取り組まれているの か伺います。 ② 燕市の 9 年間における義務教育の今後の展開と目指 すべき教育の在り方を伺います。
			(2) 教員の働 き方改革 と年間授 業時数の 見直しに ついて	中央教育審議会が全公立小中学校の授業時間数を一 斉点検すべきという提言を出しました。これは学校に おける働き方改革の一環でもあります。 小中学校における年間授業時数が、標準授業時数を大 きく上回っていることに関して全国的に課題となっ ていることを踏まえ、教職員の働き方改革も念頭に置 き、質問させていただきます。 ① 燕市における年間授業時数の現状はどのようになっ ているか伺います。 ② モジュール学習を取り入れている学校での、その効果 を伺います。 ③ 小中学校の授業時間を 5 分短縮し、年間で計 85 時間を 弾力的に運用するという新たな方針が文部科学省か ら示されました。効率的に時間を使いながら質の高い 授業を行うこと、放課後の時間を確保して教員の働き 方を改善することを目的としています。そのような中 で、子どもの学び方の改善と教員の負担を軽減する 「40 分授業午前 5 時間制」が、全国の一部の小学校で 試験的に導入されています。この制度に関して市の見 解を伺います。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
1	高橋 妙子 (一問一 答方式)	1. 教育につ いて	(3) 児童生徒 の起立性 調節障害 について	①自律神経系の異常で循環器系の調節がうまくいかなくなる疾患である起立性調節障害は、身体的要素以外に、精神的、環境的要素も関わって起こると考えられており、自律神経系が不安定になることで、なかなか朝起きられない、頭痛、腹痛や倦怠感が続くなどの症状が起きます。成長期である小学校高学年～中学生に多くみられることで、本人や保護者の方々がなかなか気付かないことも多く、本来、生活に支障をきたしている場合は疾患として扱い、診察を受ける必要がありますが、なかなか周りに相談出来ず、児童生徒本人もその辛さから、学校に行くことが出来なくなっている児童生徒も多いと認識しています。そうした実情を踏まえ、燕市における児童生徒の起立性調節障害に対する認識とその対応を伺います。 ②起立性調節障害が不登校の要因の一つとなり得ることもあると思いますが、市の見解を伺います。
			(4) 不登校支 援と子ど もの居場 所につい て	①燕市における不登校児童生徒への支援の在り方とその目的を伺います。 ②不登校の児童生徒への付き添いのため、仕事を休まざるを得なかったり離職される保護者もいると認識している。児童生徒本人への支援と同時に、保護者への支援も重要と考えるが、どのように取り組まれているか伺います。 ③小中学校の不登校児童生徒がＩＣＴ等の活用、教育支援センターや民間のフリースクールなど、学校以外の場所での学習や活動を通じて、出席日数を得られる仕組みである出席扱い制度ですが、燕市における不登校児童生徒の出席扱いに関する状況と出席基準に関して伺います。 ④各中学校と市内に設置されている教育支援センターでの支援状況と支援強化に向けた今後の見通しを伺います。 ⑤小学校においては、教育支援センターに代わる居場所を設置している学校もあると認識しているが、支援の状況を伺います。
2	齋藤 和也 (一問一 答方式)	1. 教育につ いて	(1) 通学時の カバンの 重さにつ いて	通学かばんの重さはここ数年、重くなっており、小学生は教科書・問題集・体操着に加え、タブレット端末、水筒を持参しています。中学生になると部活動の道具も重なり、毎日10キロのリュックで登校を余儀なくされている現状があります。学習指導要領の変化で教科数が増えただけでなく、教科書は写真の多用などが重視されてページ数が増え厚くなり、大判化も進んでいます。以上を踏まえ、以下の内容を伺います。 ①市内の小中学生の通学時の荷物の重さについて、市として調査を行っているか伺います。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
2	齋藤 和也 (一問一答方式)	1. 教育について	(1) 通学時のカバンの重さについて	②重い荷物による児童・生徒の健康への影響（姿勢の悪化や肩・背中の負担）について、市として認識しているか伺います。 ③荷物の軽量化について、今後の取り組みがあるか伺います。
			(2) コミュニティスクールの現状について	令和5年度から市内小・中学校でコミュニティスクールが導入され、もうすぐ2年が経過します。以上を踏まえ、以下の内容を伺います。 ①各校での取り組みや運営での課題について伺います。 ②市としてコミュニティスクールをどのように活用していくのか、今後の展望について伺います。
		2. 燕市表彰式について	(1) 燕市表彰式について	各分野で功績があった方や団体の功績を称え、当市発展に寄与された人や団体を表彰していますが、会場は寒く、欠席者が目立つように感じます。以上を踏まえ、以下の内容を伺います。 ①会場選定理由について伺います。 ②対象者への案内方法や欠席理由について伺います。
		3. 健康について	(1) 第4次健康増進計画と今後について	第4次健康増進計画が始まり、令和5年度の達成状況を見ると69項目中36項目と半数が達成に向け改善が必要となっております。 以上を踏まえ、以下の内容を伺います。 ①半数の項目が「改善が必要」となった要因について事業運営に問題があったのか伺います。 ②この計画は「市民が健康で生き生きと自分らしく豊かな人生を送る」ことを目指してできた計画ですが、市民にとって何が必要なのか今後の展望や対策について伺います。
3	藤井 秀人 (一問一答方式)	1. 2050年に向けての課題について	(1) 2050年に向けての課題について	65歳以上で配偶者と子など3親等以内の親族がいない「身寄りのない高齢者」が2050年に448万人となる見込みであることが日本総合研究所の試算で分かった。 未婚化の進展などで2024年に286万人の水準が1.5倍に膨らみ、2050年時点では高齢者の9人に1人程度を占める計算との事。そのような予測の中、今後の課題について質問させていただく。 ①市内の65歳以上の方で独居世帯はどれ位あるのか伺う。 ②身寄りのない高齢者を支援する民間サービスの利用が広がり、相談件数も増えている。国はトラブル防止のため、民間事業者が守るべき指針を作成。自治体では優良業者の認証制度をつくるなど対策強化が急務となっているが、当市においてはどのような状況か伺う。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
3	藤井 秀人 (一問一 答方式)	1. 2050年に向 けての課題につ いて	(1) 2050年に向 けての課題につ いて	③老後の施設入居や入院時に求められる身元保証人の 他、遺体の引き取り手がいらないような事例は今現在あ るのか伺う。 ④高齢独居の方が亡くなり、3親等以内の親族がいなく なった場合、空き家、空き地の問題はどのような対応 をするのか伺う。
		2. イノシシ の対策につ いて	(1) イノシシ の対策につ いて	①令和5年12月議会において質問させていただいたが、 質問後、イノシシ対策はどのようにされてきたのか伺 う。 ②現在の出没件数、捕獲状況はどれくらいか伺う。 ③専門家に依頼し対策は進んでいるのか伺う。 ④防除対策として補助金は考えていないのか伺う。 ⑤D Xを使った、出没した場合の速やかな情報対応はな されているのか伺う。 ⑥同じような状況で苦慮している自治体間での話し合 い、協議会等の設置は考えていないのか伺う。
4	近藤 隆行 (一問一 答方式)	1. 父親の子 育て支援 について	(1) 父親の産 後うつに ついて	①共働き世帯の増加や育児休業制度の法改正により、男 性の育児参加が加速し、2023年度の男性の育児休業取 得率が初の3割に達した。それに伴い、育児中の父親 が産後うつを発症する問題が顕在化している。市の男 性の育児休業取得状況を伺う。 ②国立成育医療研究センターが2020年に発表した調査 では、1歳未満の子どもがいる夫婦のうち、メンタル 不調のリスクがある割合は、父親11%、母親10.8%と ほぼ同じで、10人に1人が産後うつになる恐れがある ことが分かった。市では父親の産後うつの把握がある のか伺う。 ③市では出産後に、助産師や看護師による訪問事業があ るが、対象は母親となっている。父親も一緒に参加し、 育児等の相談ができるのか伺う。 ④市では産前産後に、夫婦で参加できる妊娠、出産に関 するセミナー等があるが、その際に父親の産後うつに ついての説明があるか伺う。 ⑤産後うつを発症しやすい時期は、母親の場合、初産婦 では出産後2週間～1ヶ月にピークが来るが、父親は 産後数ヶ月以降が多い。市の訪問型男性育休啓発事業 において、育児休業後に職場復帰した父親の状況の把 握などあるか伺う。
		2. 若者支援 について	(1) つばめ若 者会議に ついて	①2013年に発足し、現在に至るまで様々な活動を展開し ている「つばめ若者会議」だが、メンバー数の推移や、 活動状況の推移について伺う。 ②市では中学校における部活動を、段階的に地域移行し ている。つばめ若者会議の新たな人材の裾野を広げる ためにも、高校生が活動している「まちあそび部」を、 中学校の部活動の一つとして選択肢に加えてはどう かと考えるが、市の見解を伺う。 (次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
4	近藤 隆行 (一問一答方式)	2. 若者支援 について	(1) つばめ若 者会議に ついて	③2014年に当時の若者会議によって、未来ビジョン「つばめの幸福論」が作成された。これは20年後の燕市がどのようなまちになって欲しいのかというまちづくりのビジョンを示したものとなっていた。愛知県新城市では若者議会があり、若者が活躍できるまちにするため、若者を取り巻くさまざまな問題を考え、話し合うとともに、若者の力を活かし、これからのまちづくり政策を検討している。そして、予算提案権を持ち、予算の使い道も含め、若者自らが考えている。つばめ若者会議は、燕市の若者の未来を創造する団体でもあるので、市でもこのような取組をしてはどうかと考えるが、見解を伺う。
5	大島 靖浩 (一問一答方式)	1. 燕市にお ける良寛 の意義と 活用につ いて	(1) 燕市にお ける良寛 の意義	燕市民において、良寛の逸話は家庭内ではもちろんのこと、学校教育の現場や地域においても碑や解説文が設置してあるなど身近な存在である。また、良寛は仏教家としてはもちろんのこと、季節の風物や子どもたちとの純粋な交流を尊ぶ詩を多く残し、幾多の文化人などから熱狂的な支持と尊敬を集めており、国内はもとより外国からも熱い視線を集めている。まさしく燕市、日本そして世界の財産である。 ①本市においては良寛の意義をどのように捉えているか伺う。
			(2) 学校教育 と良寛に ついて	①学校教育における良寛の意義について伺う。 ②分水地区に所在する小中学校での取り組み内容について伺う。
			(3) 分水良寛 史料館に ついて	①分水良寛史料館の来場者の推移について伺う。 ②来場者の推移に係る現状認識と減少に伴う対策について市の考えを伺う。
			(4) 新分水良 寛史料館 について	①新分水良寛史料館の建設に当たって「新分水良寛史料館基本構想策定事業」に500万円を計上し、令和10年頃、道の駅国上隣地に移転するとしているが、当該費用支出内訳と現状について伺う。
			(5) 文化財保 護 及 び 「文化財 保存活用 地 域 計 画」等に 関するガ イドライ ンにつ いて	①建物建設と同時に「文化財の保護に関する事項」及び「文化財保存活用地域計画」等のガイドラインが必要であると思われるが市の考えを伺う。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
5	大島 靖浩 (一問一答方式)	2. 本市の観光振興について	(1) 良寛と国上山を拠点とした観光振興について	①新分水良寛史料館が道の駅国上隣地に建設されれば、人流が生まれ相乗効果も期待できる。本市の歴史・文化及び観光の一大拠点となることも考えられるが市の考えを伺う。 ②国上山を拠点とした観光の在り方について伺う。 ③赤い吊り橋「千眼堂吊り橋」、国上寺及び五合庵を広く知ってもらい、観光客が安全かつ快適に訪れられるようにするため、道の駅国上から国上寺までの間の林道に「電磁誘導式ゴルフカーバッテリーモデル鉛シールドタイプ5人乗り」を運行し、周遊型の観光拠点として運用することで、さらに観光客を誘致できるのではないかとと思われるが市の考えを伺う。 ④林道の維持管理の所管について市の権限を伺う。
			(2) 今後の街づくりについて	①本市の地理的ゾーニングを考えると、燕地区は工業の集積地としての佇まいを、吉田地区は商業の発展とロードサイド店舗の充実を、そして分水地区は大河津分水、国上山と道の駅国上の自然観光地としてそれぞれの優位性をもって特色ある街づくりを展開していることから、更に発展的な思想に立ち、行政運営をすることが重要であると思われるが市の考えを伺う。
		3. 子どもの居場所について	(1) 不登校対策としての全ての児童生徒の居場所づくりについて	①不登校対策として全ての児童生徒の居場所づくりを本市ではどのように取り組んでいるのか考えを伺う。 ②一人ひとりの特性に応じた居場所づくりが必要であろうと思われるが市の考えを伺う。 ③現在、公営・私営併せてどの程度の居場所が存在するか。それらに対して市からの助成等具体的な働きかけはあるか伺う。
			(2) 居場所づくり及び交流の場としての給食センターの活用について	①東京都八王子市では新たな取り組みとして、不登校児童生徒のために学校給食センターで作った給食をセンター内で提供し、「第2の居場所」として開放し、社会とつながるきっかけづくりとしている。本市においても参考となる好例であると思われるが市の考えを伺う。 ②同市においては、市民向けに学校給食の試食を各給食センターで実施しており、学校教育への理解や食育及び安価な提供による市民交流の一環としてもニーズは高いものとなっていることから市の考えを伺う。

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
6	佐野 大輔 (一問一 答方式)	1. 燕市の農 業振興に ついて	(1) 地域計画 の現状に ついて	市では、これまで地域計画策定に向けて地区ごとに協議を継続して行い、地域計画(案)を作成し、2月には説明会を行なってきたと承知している。その上で令和7年3月末には公表を予定していることから以下の通り伺う。 ①地域計画策定段階で市全体の農家のうち、どれだけの農家の方が参加されたのか伺う。 ②説明会においてどのような意見や反応があったか、またその上で、新たな課題等は把握できたか伺う。
			(2) 地 域 計 画、そし て燕市の 農業の今 後につい て	①ホームページで公表されている協議の内容を見るとほとんどの地区で高齢化による新規就農者の確保が必要かつ農地の集約化の必要があるとされている。今回の地域計画の策定段階では、10年後の耕作者を明確にした「目標地図」の作成が行われたが、策定段階でどのような議論がなされ、実際に10年後をイメージした形での作成が行われたのか伺う。 ②今後、10年後の目標地図をはじめとする地域計画の実効に向けて、市はどのような形で関わっていくのか伺う。 ③高齢化による新規就農者の確保が必要となっており、遊休農地を増やさないためにも地域内外から新規就農者を確保していくとあるが、そのために市として確保する取り組みについてどのように考えるか伺う。 ④新規就農者を確保する方策として様々な取り組みを行なっていることは理解しているが、市外や県外では研修場所を確保するなど新規就農を希望する方が一歩を踏み出しやすい取り組みがなされている。燕市でも研修場所の確保や就農に繋げるために既存の農家にて研修しやすくなるような既存農家とのマッチング(体験ではなく年間通しての研修場所として)など具体的な新規就農者確保のための取り組みはできないか伺う。
		2. 障がい者 支援の現 状と活動 支援につ いて	(1) 専門職の 活用につ いて	燕市では、令和7年度予算において通級指導教室の増設や5歳児健康診査の実施など幅広く発達障がいのお子さんに対しての政策を広げていく予定となっている。 ①他の機関の専門職の方と連携して支援を行なっているが、切れ目ない支援という観点からも、「言語聴覚士」や「作業療法士」といった専門職を市の職員として採用することはできないか伺う。
			(2) 障がい児 (者) の 方の活動 支援につ いて	燕市でも日中一時支援や移動支援などこれまでも障がい児(者)の方々がより暮らしやすくなるように支援を行なってきたと理解している。 (次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
6	佐野 大輔 (一問一 答方式)	2. 障がい者 支援の現 状と活動 支援につ いて	(2) 障がい児 (者) の 方の活動 支援につ いて	①より柔軟に対応するために長野県内の各市町村では、これらの支援とは別にタイムケア事業という形で、近隣在住者や知人などの個人も含めた方に介護者の幅を広げて対応してもらう事業を行なっているが燕市でもこのような事業を行えないか伺う。
7	小林 由明 (一問一 答方式)	1. 持続可能 都市の実 現	(1) 公共交通 とまちづ くり	①昨年の英語スピーチコンテストにおいて、最優秀賞を受賞された燕中等教育学校３年生の増田樹さんが、燕市の公共交通の利便性向上を願う内容のスピーチをされており、日常の移動を公共交通や保護者等他者に頼らざるを得ない中高生のリアルや、いわゆる交通弱者のその想いを代弁されていたものとして、真摯に受け止めるべきものと考えている。このスピーチについての市の率直な想いを伺いたい。 ②都市形成と公共交通は一体的に考え整備する必要がある、立地適正化計画を定め、コンパクトシティプラスネットワークとして人口や都市機能密度の維持向上と、公共交通の利便性向上などによって、都市の持続可能性を高めるため市は様々な取り組みをおこなっている。世界の複数の調査研究において、自動車への依存度が高いほど、ストレスや運動不足、社会とのつながりの減少など、様々な要因を通じて生活満足度を低下させる可能性がある」と指摘されている。また、公共交通機関の充実度が若年層の居住地選択に影響を与えているという研究結果もあり、住民の健康と生活満足度を向上させるとともに、移住定住を促進し持続可能な都市を実現するためには、さらに踏み込んだ公共交通の充実が必要であると考えているがいかがか。 ③きららん号、スワロー号の休日運行を実現できないか。 ④高校、大学を卒業し都市部で勤めている若い方たちに帰省中話を聞く機会があるが「弥彦線の終電が早すぎる。これでは帰ってきにくいし、出かけることもままならない。」という声を聞くのが常である。弥彦線、越後線の運行確保、運行時間の拡大について、県や沿線自治体、事業者などとの議論はどのような状況なのか伺いたい。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
7	小林 由明 (一問一 答方式)	1. 持続可能 都市の実 現	(2) 深刻な高 齢化・人 口減少局 面におけ る、活動・ 交流応援 人口増戦 略の重要 性と、今 後の市民 活動支援 のあり方 について	①2025年には団塊世代のおよそ800万人（総人口比約6％）が後期高齢者となる。10年後には燕市総人口は約10％減少、15歳未満人口は約30％も減少することに加え、高齢化率は40％を超えるとされている。多死のピークは2040年頃とされており、その頃には、特に高齢化が進んでいる駅周辺自治会は消滅する可能性が高く、皆がこの深刻さを肌で感じた時には打つ手なしという状況にもなりかねない社会変化が今まさに起こっている。若年層・総人口が著しく減少する深刻な状況において都市の持続可能性を高めるためには、それまでの燕市にはなかった革新的発展的活動が必要である。まちづくり協議会、イキイキまちづくり事業助成金や創業支援、老人クラブ支援など、市民の自発的活動支援への市のこれからの向き合い方について伺いたい。 ②まちづくり協議会に対する補助金制度は、地域活性化を目指す上で重要な役割を担っているが、その基本的な補助額は「運営補助：均等配分280千円+世帯加算（世帯数×60円）・事業補助：均等配分280千円+人口加算（人口数×50円）」となっており、毎年約1,300万円と多額の予算が固定化され、類似の他の市民活動支援の補助助成額に比して突出しており、予算の柔軟性や効率性にも課題があると感じている。さらにまちづくり協議会は、イキイキまちづくり事業助成金も申請できる優遇された仕組みになっている。著しく進む深刻な地域内の高齢化や人口減少を踏まえれば、地域外、市外からのより多くの方々の、それまでの燕市になかった多彩な活動や人材を強力に呼び込む必要がある。1,300万円という多額のまちづくり協議会補助金をイキイキまちづくり事業等に吸収させ、地域コミュニティ支援と並行させつつ、社会課題解決に向けた活動や創業支援に広く門戸を開き、真に自発的意欲的で発展可能性の高い事業を支援することで、それらを展開する方々を燕市に呼び込むことが必要なのではないか。
			(3) SNS、 動画配信、 AIの市内 事業者の積 極的活用の 促進につい て	①販路開拓や人材確保等のため、これまで企業のホームページ制作の補助をしてきている。その成果についての評価を伺いたい。 ②ホームページを制作して終わりではなく、本来はそこからがはじまりである。SNSとの連携や動画配信など、いずれも継続的な情報更新と発信が重要であることを啓発し促進することで、市内事業者の情報発信を次のステップへと導いていくことが必要ではないのか。 ③業務へのAI活用の効果が認められてきているが、商工団体などとともにその普及啓発に力強く取り組むべきではないのか。

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
8	長井 由喜雄 (一問一 答方式)	1. 原発再稼働問題について	(1)「県民投票条例の制定」について	①「柏崎刈羽原発再稼働の是非を県民投票で決める会」が「県民投票条例の制定」を求めた署名が全県で15万筆を超え、市町村選挙管理委員会の手続きの後3月の中頃に県に提出される。燕市でも2,432筆の署名数となった。署名に添付された条例案では、「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する知事の判断において、県民の意思を公正かつ民主的な手段によつて的確に反映させることを目的とする」とうたっている。県民投票で再稼働の是非を決めるということについて、どのように考えるか伺う。
		2. 保育園・こども園について	(1) こども誰でも通園制度について	①「こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）」が2026年度から国の施策として自治体に本格実施が求められる。 国は手を上げる自治体に試行的に市町村事業として導入した。県内でも4自治体が行なっているが、市は実施自治体の声を把握しているか。 ②制度にはさまざまな問題が指摘されている。現時点で国が示している事をもとに実施に向けた燕市の対応について伺う。 ③現在実施している「一時保育」の拡充で対応は可能なのではないか。市の考えを伺う。
			(2) 温暖化による保育の変化と遮熱対策	①地球温暖化により子どもたちの園生活も影響を受けていると感じる。ここ数年において子どもたちの園生活や行事などにはどんな変化をもたらしたか伺う。 ②園内での生活においては、エアコンの温度設定を下げることによってCO2排出による環境問題にも影響することにつながる。保育施設においては屋根、壁面、窓などの遮熱対策をすることが重要となるのではないか。全体的で早急な計画が必要と考えるがいかか。 また、園外での保育についても園庭やプールにおいては日陰をつくるなど、外遊びの保障も求められる。考えを伺う。
			(3) 適正な定員について	①県が示した保育現況一覧によれば、令和5年の段階で認可保育所については公私立17園で「認可定員」1,955人、「利用定員」1,915人に対し児童数は1,453人となっている。また認定こども園では、公私立6園の「認可定員」1,019人、「利用定員」820人に対し児童数が730人となっている。保育施設は定員に沿った基準の公定価格によって運営される。特に私立においては重要な問題だ。公立保育施設を含めた最適な定員についての考えを伺う。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
8	長井 由喜雄 (一問一 答方式)	3. 学校及び 学童保育 について	(1) 就学援助 制度の拡 充	①燕市においては、国が示す就学援助14品目のうち、オンライン学習通信費を加えた10品目となっている。教育委員会としてこれまで検討するとしてきた残りの品目について、地域移行化するクラブ活動費や卒業アルバム代をはじめ、対象とする費用額などの拡充についてどう考えるか伺う。また、準要保護者の対象については生活保護基準の1.3倍としたままだが対象者数の推移はどうか。諸物価高騰する中で、引き上げることが求められるのではないか。
			(2) 温暖化に よる小中 学校の活 動の変化 と遮熱対 策	①温暖化の影響により学校での授業、活動にはどんな変化があったか伺う。 体育館への移動式エアコンの導入で体育授業などは改善されたことと思う。特別教室も含め、教室にはエアコンが設置されているが、さらに深刻化、長期化する温暖化による環境負荷も考えられることから、窓、壁面、天井などの遮熱対策も重要なことと考える。小中学校において、温暖化による遮熱対策を計画的に行うことが必要と考えるがいかがか。
			(3) 学童保育 における 温暖化の 影響と遮 熱対策	①児童クラブやなかまの会は、放課後や長期休業中の利用者が年々増加する傾向にある。近年の活動への影響はどうか。施設の状況はそれぞれだが、今後計画的に遮熱対策を行うことが必要と考えるがいかがか。
9	稲村 隆行 (一問一 答方式)	1. 教育につ いて	(1) 小中学校 における タブレッ ト端末の 使用につ いて	①1日のうち、どの教科で何時間程度タブレット端末を使用しているのか、小学校、中学校それぞれ伺います。 ②タブレット端末導入時と比べて、現在の日あたりのタブレット端末の使用時間がどのように変わったか伺います。 ③タブレット端末導入により、どのようなプラスの効果があったか伺います。 ④タブレット端末導入による弊害があれば伺います。 ⑤タブレット端末導入により、生徒の学力調査等の結果に変化がみられるか伺います。 ⑥今後、タブレット端末の使用時間は増やしていくのかどうか、方針を伺います。
		2. 人権教 育・啓発 推進事業 について	(1) L G B T Qに関す る教育・ 啓発につ いて	①L G B T Qに関し、小中学生、市民に向けてどのような教育・啓発事業を実施しているか伺います。 ②本市において、L G B T Qに関する教育・啓発事業を実施することにより、どのような効果を期待しているか、またはどのような課題を解決しようとしているか伺います。 ③L G B T Qに関する教育・啓発について、今後さらに推進していく考えがあるか、市の考えを伺います。

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
10	土田 昇 (一問一答方式)	1. 下水道の問題について	(1) 市の下水道の現状について	① 1月28日に埼玉県八潮市で起きた大規模な道路陥没事故は下水道管の破損が原因と大きく報道されました。新潟県も下水道の緊急点検を検討し、県の下水道課によると年度別の発生件数は2021年度が85件、2022年度が120件、2023年度が60件で、3年間で合計265件と報道されました。燕市は、国が要請した緊急点検の対象外でしたが、自主点検を実施し、2月14日の全員協議会で結果について報告がありました。合流管で異常箇所があったと地図で示されましたが、2月4日17時40分応急修繕完了となっています。本管の建設から50年経過している以上、厳しく点検していく必要があると思うが、今後の対応と認識について伺う。 ② 燕市全体の今後の対応については、調査の専門業者に管内調査を依頼し、管内の状況を把握し、破損等が見られた場合には、修繕方法を検討して速やかに修繕作業を実施するとしています。当然国や県の指導もあると思うが、建設後50年が経過している本管の維持管理は、自主的に点検して広報等々で現状について報告すべきと考えるが、どのような見解か伺う。 ③ 西川流域の下水道についても平成4年度に事業が実施されてから34年が経過しているので、下流の状況等々についても今後の対応と見通しについて伺う。
		2. 教育問題について	(1) 市の現状と対応について	① 教員の「残業代ゼロ制度」の廃止にあたり、「定額働かせ放題」について、現場ではどのような状況になっているか伺う。 ② 長時間労働の根本解決のためには少なすぎる教員を増やすべきと考えるが、現状の認識について伺う。 ③ 教員の働き方改革について、今国会で審議される予定と思うが、どのように認識しているか伺う。 ④ 現在市の教員数（正職員、臨時職員）はどのような状況か伺う。 ⑤ 市の教員の中で、現在精神疾患で休職されている方はどのような状況か伺う。 ⑥ 小学校、中学校の不登校の状況について伺う。
11	タナカ・キン (一問一答方式)	1. コミュニティバスの運行について	(1) 土・日運行について	① 4年前の3月定例会でもコミュニティバスの運行について質問している。本年1月末現在の県内20市におけるコミュニティバスの運行状況について伺う。 ② 現在「スワロー号」「コミュニティバス実証運行」、弥彦・燕広域循環バス「やひこ号」とも、運行日が月曜日～金曜日になっているが、土・日運行をしない理由について伺う。 ③ 他市におけるコミュニティバスの土・日運行について伺う。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
11	タナカ・キン (一問一答方式)	1. コミュニティバスの運行について	(1) 土・日運行について	④私がなぜ土・日運行にこだわるかというと、土・日は商店街のイベント、神社の祭礼、各地域のお祭り、文化会館や公民館などで多くの催し物があるからです。また、スーパーの売り出しも土・日が多い。観光振興課、商工振興課、社会教育課が関わっている年間の催し物を伺う。
			(2) 高齢者の運転免許自主返納者について	①高齢者の運転免許自主返納者が増えれば増える程、コミュニティバスの必要性が高まると思うが考えを伺う。 ②これまでの各年度の男女別の人数について伺う。 ③うち、60代、70代の人数について伺う。 ④免許返納によって、買い物に行くのが困難になるが、こういう市民の利便性のためにも、コミュニティバスのルートを増やす必要があるのではないか考えを伺う。 ⑤買い物であるが、「無印良品」が移動販売バスを出している。県内では佐渡市、十日町市、直江津(上越市)で可動している。燕市にも「無印良品」が出店しているのでお願いしてもいいのではないかと考えを伺う。
		2. 新分水良寛史料館の構想について	(1) 新分水良寛史料館の構想について	①出雲崎の「良寛記念館」は1965年に建てられ今年で60年、長岡市和島の「良寛の里美術館」は今年で34年、「分水良寛史料館」は今年で45年である。新しく建てられる施設のネーミングやコンセプトは重要である。考えを伺う。 ②出雲崎の「良寛記念館」は平成28年に国登録有形文化財に指定されている。近代建築の巨匠・谷口吉郎博士の設計であるが、誰に設計を依頼するかも重要であると思うが考えを伺う。 ③そして、一番重要なのは内容である。どこも、遺墨を中心とした基本展示「常設展」のスペースがメインであるが、これでは、入館者が見込めるだろうか考えを伺う。 ④良寛さんの研究書であるが、現在燕図書館、吉田図書館、分水図書館に所蔵されている本はそれぞれ何冊か伺う。 ⑤同じ本もあると思うが、重複していない本は何冊になるか伺う。 ⑥分水良寛史料館に所蔵されているのは何冊か伺う。
12	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 市役所内のデジタル化について	(1) デジタル化はどこまで進むのか	①仕事におけるデジタル化についてはデータの処理等いろいろあるが、現状はどうか伺います。 ②AIの活用はどうか伺います。 ③タブレットの活用はどうか伺います。 ④国は様々なところで仕事の効率化を進めるためにデジタル化を進めているが、各自治体の中においてデジタル化の進行状況はどうか伺います。 (次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
12	齋藤 信行 (一括質問一括 回答方式)	1. 市役所内 のデジタル化につ いて	(2) デジタル 化と働き 方改革につ いて	① デジタル化が進むことによって、働き方や人員の数など、様々な面で変化があると思われます。市民へのサービスはどうあるべきか、今後の方向性を考える時期かと思われますがどうか伺います。
		2. 教員の確保と働き 方改革につ いて	(1) 小学校の 教科担任 制にかかる教員の 確保と働 き方改革 について	① 燕市の小学校における教科担任制の現状はどうか、教員の確保と働き方改革について伺います。 ② 燕市の小中学校における今年度及び新年度の4月の教員の配置状況を伺います。 ③ 年度途中で教員が病気や出産のために休業する場合、その代替教員が配置されますが、実際には代替教員を見つけることが難しいと伺っています。現状はどうか伺います。
			(2) 教育にお けるデジ タル化と 働き方改 革につ いて	① 教育におけるデジタル化と働き方改革について伺います。
		3. 農業につ いて	(1) 分水西部 地区のほ 場整備事 業につ いて	① 最初の計画と現状と今後について伺います。 ② ほ場整備事業終了後の土壌の状況はどうか伺います。また、作物の作付けや減反等どう考えるか伺います。
			(2) 後継者につ いて	① 農業の後継者と今後の課題について伺います。(農業委員会の意見書にもありました。)
		4. 産業史料 館周辺施 設のコラ ボにつ いて	(1) 産業史料 館の企画 展などの コラボにつ いて	① 産業史料館周辺には様々な施設があるので、産業史料館で企画展があるときにキッチンカーなどを呼び、イベントのコラボができれば、お客様に対していろいろなサービスの提供が考えられるのではないかと伺います。
			(2) ハレラテ つばめな ど周辺施 設の開館 時間など について	① 産業史料館の近くには今後開館するハレラテつばめなどがあります。開館時間等を考慮し、イベント、企画展とコラボができれば今後の運営に活かせるのではないかと思います、方向性を伺います。

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
13	岡山 秀義 (一問一 答方式)	1. 地域資源 の可能性 について	(1) 旧学校施設・利用 停止する 公共施設の 利活用 について	少子化が進み、今後あらゆる地区において小中学校の統廃合が大きな課題となる。学校や市民が普段利用している公共施設は、その地域のシンボルであり大切な財産であることから旧学校・公共施設の利活用をどのようにしていくのか、その地区の特性も含めて考えなければいけない。 文部科学省は2018年「～未来につなごう～『みんなの廃校』プロジェクト」を立ち上げた。旧学校施設を積極的に活用することで維持管理費や公共施設の施設整備コスト縮減といった短期的な効果のみならず、地域コミュニティの維持・活性化や産業振興といった様々な効果が期待される。 ①旧松長小学校の現在の利用状況について伺う。また、市民やその他から利用したいとの声はないのか伺う。 ②保有計画も鑑みて、今後10年で何校くらい統廃合があり得るのか。また保有計画の中で学校に相当する施設（会館や体育館）の利用停止はどれくらいあるのか伺う。 ③各自自治体の旧学校施設において特色ある活用方法を取り入れている。燕市は、ものづくり、産業のまち。農産物も豊かなまちである。さらに若者がチャレンジしやすい環境も整っている。J R 燕三条駅、三条燕高速道路などアクセスも抜群で関東圏の企業誘致なども考えられる。これから益々「しんか」する燕市に合ったかたちで大切な地域資源としての可能性を考えなければいけない。当局の考えを伺う。
		2. 家庭ごみ 収集について	(1) 収集方法 について	燕市では家庭ごみの収集方法として自治会で管理するごみステーション（可燃ごみ・不燃ごみ・缶類・金属類・びん類・新聞・ダンボール・雑誌・紙箱類）、各行政区担当業者申込制の戸別収集（粗大ごみ）、個人で直接搬入する拠点収集（古着類・せん定枝・水銀含有製品・小型家電・乾電池・紙パック類・ペットボトル・天ぷら油）に分けられている。 ①1人1日当たりのごみ排出量全国3位の新潟県において燕市でも、ごみ問題は大きな課題であると考えている。焼却炉の老朽化も含めごみ問題をどのように考えているか伺う。 ②現在の収集方法を市民はどのように捉えているか、アンケートなど調査はしているのか伺う。 ③拠点収集に関して日常生活でよく排出される紙パック類やペットボトルをごみステーションで収集できるようにできないか伺う。 ④燕市のごみを少しでも減らすために、焼却炉の寿命を延ばすためにも民間業者等と協力してリサイクル活動などとはできないのか伺う。 (次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 員 議	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
13	岡山 秀義 (一問一答方式)	3. 安全・安心に暮らせるように	(1)通学路の録画機能付き防犯カメラ設置について	燕市で多発する通学中の声がけや不審者情報。頻繁にマチコミメールで通知してもらい保護者へ注意を促している。車種・服装・人相・予想年齢が分かっている、カメラがないので犯人が分からない。保護者・児童生徒はその後がどうなったのか分からないのが現状である。以前に一般質問した際はプライバシーの問題がある。自治会からの要望があれば補助金を利用して設置できると答弁があった。減少することのない声がけ、不審者情報。大きな事件がおこる前に録画機能付き防犯カメラを設置し、犯人の特定につながる情報を得られるようにすべきと考える。 ①今年度おきた通学中の声がけや不審者情報の件数、どのような事案があったのか伺う。 ②録画機能付き防犯カメラの設置は犯罪抑止に絶大な効果を発揮し、犯人へ繋がる情報源となる。犯人逮捕で最も重要なのは情報である。児童生徒が毎日利用する通学路へ設置と地域住民の見守りで安全で安心して暮らせるまちづくりを目指すべきと考えるが見解を伺う。 ③警察や学校、自治会等との連携について伺う。
14	宮路 敏裕 (一問一答方式)	1. 地域経済の現状と事業者支援について	(1)地域経済の現状と事業者支援について	①中小企業や小規模事業所を取り巻く現況は、原材料や燃料・エネルギー価格の高止まりにより、全国的には「物価高」倒産や休廃業に至りかねないケースが少ないといわれている。本市の地域経済の現況について、認識を伺う。 ②物価高騰対策の事業者支援として、市では県の「物価高騰等対策特別融資」の信用保証料上乗せ補助を実施しているが、申請状況を伺う。 ③国による物価高騰対策の「重点支援地方交付金」にあたり、事業所支援向けの活用として本市ではどう展開されるのか伺う。
			(2)中小企業の賃上げについて	①国の中小企業向け「賃上げ促進税制」という事業者に資する国の制度があるが、市としての所見を伺う。 ②中小企業では業績の改善に至らない中、人材確保のための「防衛的賃上げ」を検討する事業所がある。その上で、事業者は社会保険料負担の軽減を求めている。市としても、国に働きかけるべきと考えるが、所見を伺う。 ③岩手県やその他自治体の一部では、独自で中小・小規模事業所の賃上げ促進の支援金事業を行っている。意義のある事業と思うが、所見を伺う。